

科目名	作業学実習Ⅱ①			授業の種類	実習	講師名					
授業回数	23	回	時間数	45	時間	1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	1年	後期
【授業の目的・ねらい】 作業療法の臨床現場では様々な作業活動が行われています。ここでは代表的な作業活動を実際に行い、心身に与える影響を考えます。											
【実務者経験】 県立病院で20年勤め、その他一般病院、デイサービス、訪問リハビリなどでも勤務。身体障害領域の急性期から維持期まで幅広いリハビリテーションに従事している。 作業療法士として、精神分野として、精神科作業療法、精神科デイケア、司法分野として、刑事施設における作業療法に従事経験。											
【授業全体の内容の概要】 前期にはこまごまとした手工芸を中心とする作業活動を8種目、後期にはダイナミックな作業活動を含めた7種目行います。											
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 各作業活動の作業工程と使用する物品名および使用方法を熟知し、心身に与える影響を述べることができる。											
回数	講義内容									準備物(教材)	
1	切り絵										
2	切り絵										
3	アイロンビーズ										
4	アイロンビーズ										
5	マクラメ										
6	マクラメ										
7	釉薬										
8	釉薬										
9	マクラメ										
10	銅板										
11	木工										
12	木工										
13	木工										
14	木工										
15	木工										
定期筆記試験+A32:N35											
【使用教科書・教材・参考書】 ゴールドマスター・テキスト作業学第3版（メジカルビュー）											
【準備学習・時間外学習】											
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 作業分析のレポート30点、各作業活動の仕上がり30点、筆記試験40点として実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。											